



2016年10月5日

各 位

会社名 イオン九州株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 柴田 祐司
 (コード番号：2653 JASDAQ)
 問合せ先 取締役執行役員経営戦略本部長 榊 隆之
 (電話番号 092-441-0611)

当社の親会社名 イオン株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
 (コード番号：8267 東証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2017年2月期第2四半期累計期間の業績を踏まえ、2016年4月13日に公表した2017年2月期通期の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

2017年2月期 通期業績予想の修正 (2016年3月1日～2017年2月28日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	241,000	500	470	50	円 銭 2 66
今回修正予想 (B)	237,800	800	830	500	26 62
増減額 (B-A)	△ 3,200	300	360	450	
増減率 (%)	△ 1.3	60.0	76.6	900.0	
【ご参考】 前年同期実績	240,314	△ 186	△ 29	△ 2,047	△ 109 04

2. 修正の理由

2016年9月21日に開示いたしました、「特別利益の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、「平成28年熊本地震」において熊本県内の一部店舗が一時的に営業が出来ない状況となったこと等の影響により、2017年2月期第2四半期累計期間において衣料品、住居余暇商品の売上高が伸び悩んだことで、営業収益は2016年4月13日にお知らせした2017年2月期通期の業績予想を下回る見込みです。

一方で、利益面はイオンストア九州株式会社との一体運営をすすめるなかで、お互いの強みを活かした「じもの」「こだわり」商品の品揃えを拡充する等の取り組みにより、売上総利益率は改善の見通しです。また、販売費及び一般管理費につきましては、継続的な経費削減等により当初計画を下回る見通しです。これらの結果、通期の営業利益、経常利益、当期純利益は各々前回予想を上回る見通しとなりました。尚、当期純利益につきましては、2017年2月期第2四半期累計期間において特別利益を計上した影響等により、当初計画からの増加額は営業利益の増加額よりも大きくなる見込みです。

*上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上